



広報

いせん

No.308

全世帯配布 編集・発行 伊仙町役場 企画課

〒891-8293 鹿児島県大島郡伊仙町伊仙1842 TEL 0997(86)3111 FAX 0997(86)2301

URL <http://www.town.isen.kagoshima.jp/>

2014年(平成26年)1月号

新年あけましておめでとうございます

長寿・子宝の町

伊仙町

伊仙小五年中井あめり



今月の主な内容

新年のご挨拶……………	2-3
まちの話題……………	4-6
おしらせ……………	7-15
わが町のアイドル・戸籍の窓…	16

主な行事予定(1月・2月)

1月 4日	消防出初式
1月 5日	成人式
1月19日	クリーン作戦
2月16日	クリーン作戦

平成26年度

新年の挨拶



伊仙町長 大久保 明

新年明けましておめでとうございます。

年頭にあたり、輝かしい新春を皆様と共に迎えられる事をお慶び申し上げます。

昨年は、奄美群島日本復帰60周年という歴史に残る年であり、この60年間に多くの先輩たちが艱難辛苦にも負けず、町の発展に心血を注いできたことに深く感謝と敬意を申し上げます。そして、多くの記念行事が、町民参加のもと、盛大に行われました。衷心より厚くお礼申し上げます。

この60年間を振り返ると、戦後の復興期から取り残された奄美群島は、奄美群島復興・振興・振興開発事業により、道路、港湾、学校などの社会インフラ整備がなされてきましたが、まだまだ十分ではなく、特に伊仙町においては、激しい政争の町という印象が強く、町の順調な発展を阻害した感がありました。今はその反省を踏まえ、町民が心をひとつに一致団結し、「誰もが住んでみたい」

と思う魅力ある誇り高い町にしていこうという機運が醸成されつつあります。

また、伊仙町政を担い、早や12年の歳月が過ぎ、このたび多くの町民の信託を得まして連続4期目の町政かじ取り役を仰せつかせて戴きました。

『輝く未来へ更なる前進』『実現力』をスローガンに、100項目のマニフェストを掲げ、向こう4年間その実現に向け鋭意努力して参ります。

まず初めに「産業が立ち上がる伊仙町」の実現に向けては、農業立町であります本町の基幹作物であるさとうきび、馬鈴薯を含む園芸作物、また畜産の振興を中心に農業生産額50億円達成を目標に農業所得の向上に努めながら6次産業化も推進します。企業誘致については、Aコープ伊仙店進出に伴う雇用の確保、また他企業の誘致についても積極的に推進して参ります。

次に「もてなしと癒しの町伊仙町」実現については、現在の観光地や景勝地を整備し、「徳之島なくさみ館」を活用して各地域に残る伝統文化や闘牛文化を観光資源として活用します。次期奄振では、離島輸送コストの支援や割高な航空運賃補助など直接住民に直結する内容を盛り込んだ施策など地元の意見や要望を中心とした奄美群島成長戦略ビジョンの骨子を取り入れた形

での法延長に加え、一括交付金化「奄美群島成長戦略推進交付金」の要望など、県選出国会議員や関係機関等に積極的に働きかけ実現に向け鋭意努力いたします。情報の発信については、情報戦略室を中心に議会中継・HP・広報紙を充実させ島内外者を含め、U・Oターナー者への情報公開に努めて参ります。

次に「健康・長寿の町伊仙町」実現については、行政の関係機関を中心に町民の健康増進を推進し、高齢者の生きがいづくり、また長寿者への敬老祝い金を継続し、特定健診の受診率をアップさせ、健康長寿の町を確立し、住民福祉へと繋げてまいります。

安心・安全対策としては、台風常襲地帯であることを踏まえ自主防災組織を強化し、要介護者の避難対策を集落ぐるみで取り組んで参ります。

次に「子どもたちの未来を育む伊仙町」の実現については、子宝政策の一環として出産祝い金や一人親世帯、不妊治療の支援を継続してまいります。島内医療機関での産婦人科医及び小児科医を本年より常駐させ、充実を図り「子育てのしやすい」町づくりを努めて参ります。

教育面では、「伊仙町親子チャレンジ教室」を充実させ自然学習教育や島口・島唄などの伝統文化や郷土文化の継承にも努めて参ります。

また、旧徳之島農業高校跡地に特別養護支援学校設置実現を目指して参ります。

次に、「すべての町民が主役の町伊仙町」の実現については、社会的弱者の社会参加を積極的に支援し、集落自治活動を推進し、地域力の養成を目指して参ります。

次に「歴史・文化・自然を大切にする町伊仙町」の実現については、豊かな自然を後世に残すためにも不法投棄撲滅・海岸の清掃の徹底など、行政と町民が一体となつて世界自然遺産登録に向けて取り組みを強化して参ります。

また、文化財保存を図り、カミヤキ陶器窯跡などの史跡・名勝を生涯学習、学校教育の一環として取り上げ、または観光資源として活用し地域おこしに貢献いたして参ります。

今後共、「長寿と子宝の町」「人情豊かなもてなしの町」として更に情報発信し、町勢発展のために全力投球傾注しその実現に向けて努力して参りますので、町民の皆様の尚一層の御協力と御理解をお願い申し上げます。

最後になりましたが、皆様方の御健勝と御多幸をお祈り申し上げます。私の新年の挨拶といたします。

平成二十六年 元旦



教育長 茂岡 勲

町民の皆様、新年明けましておめでとうございます。輝かしい新春を健やかに迎えられたことと存じます。謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年は、奄美群島が日本復帰して60周年の記念すべき年に当たり、記念式典や町独自の行事等で日本復帰の頃を新たに思い出すことでした。また、奄美群島が世界遺産登録も目前となっており、内外共に注目され躍動した年でもありましたが台風等、災害も多い年でした。

教育においては、まず人づくりです。学校教育においては、全国どこでも通用する学力・体力を持ち、人間性豊かな人づくりが大切であります。

自分が生まれ育った徳之島を誇り、この島を愛し、島の産業である農業を守り育てようとする人材の育成であります。また、高校を卒業して島を出て行く若者に「徳之島が懐かしい。」「あの徳之島へ帰りたい。」「あの教育を再現したい」と思わせる教育を実現したいと思います。伊仙町では、知・徳・体のバランスのとれた全人教育を目指してどの学校も「学力の向上」と「特

色ある学校経営」を課題として取り組んでいます。同じ伊仙町にあってもそれぞれの学校には歴史・風土が異なり、島口・島唄も違ってくると思います。伝統文化を含めた地域の特性は、地域住民を第二の先生または「ふるさと先生」として学校・地域の活性化に利用される様をお願いしています。次に、「なぜ勉強するのか？」を発達段階に応じて見直し、キャリア教育の推進を図っていきます。また、幼稚園、小・中学校の連携を図るために、東部・中部・西部の中学校を拠点にして、一層の充実と各教科部会の活性化に向けて努力しているところです。どの学校でも読書量が学力のベース（堆肥）になると捉え、読書量の調査や読書週間を位置づけ読書活動推進に取り組んでいます。

学力向上と生徒指導は車の両輪と言われます。心の教育を中心とした生徒指導が、ますます重要性を増しています。本町では、「いじめ」はどの学校にもあるという基本認識の下、いじめを一件でも多く発見し、一件でも多く解決できるように努め、安全・安心な学校づくりに誠心誠意努力します。また、地域が育むかごしまの県民週間には、各小中学校、道徳の授業や文化祭を開催し地域の皆さんにも喜ばれています。徳之島農業高等学校跡地の利用については、町当局、町議会、教育委員会の連携を図りつつ、文化発信施設として推進していきます。

ます。国際化の進む今日、英語教育の必要性・重要性は日に日に増していますが、町独自のALITも4年目を迎えその成果も顕著であります。また、「子育て支援」の一環としてスタートした「預かり保育」も、さらに充実させなければなりません。

社会教育においては、県・郡・町の方針を基本目標として諸行事に取り組んできました。昨年は、伊仙町総合体育館の改築に伴い、大島地区大会の男子バレーボール競技が開催され、相撲場の完成で県民体育大会の相撲競技が開催されました。バレーボール・相撲は、町民に人気があり、大会当日は大いに盛り上がりました。また、本年は、大島地区の生涯学習大会も伊仙町で開催されます。

町には、多くの文化財があり、歴史民俗資料館の徳之島農業高等学校跡地への移転を契機に、その有効活用を図ります。特に、カムイヤキのスケールの大きさと伊仙町の歴史の深さを自覚させる取り組みに努めます。また、国指定の天然記念物である明眼の森もひろめていきたいと思えます。

今後、更なる町教育行政の充実発展に向けて教育委員会一丸となって町民の期待に応えられるよう頑張ります。

終わりに、皆様の御健康と御多幸をお祈り申し上げて、新年の挨拶とします。

謹賀新年

町長

大久保 明

副町長

中野 幸次

教育長

茂岡 勲

総務課長

窪田 良治

税務課長

池田 俊博

町民生活課長

西 吉広

保健福祉課長

松田 一郎

経済課長

樺山 誠

建設課長

中熊 俊也

耕地課長

上木 義一

環境課長

益 一男

水道課長

芳田 勇人

会計課長

幸多 健策



議会事務局長

桃山 正二

農業委員会事務局長

益岡 稔

選挙管理委員会書記長

佐平 浩則

監査委員会書記長

稲 隆仁

教育委員会総務課長

鶴永 宏造

社会教育課長

當 吉郎

給食センター所長

永島 均

ほーらい館館長

仲 武美

保健センター所長

澤 佐和子

歴史民俗資料館館長

四本 延宏

中央公民館館長

盛本 かよ子

他職員一同



長寿・子宝フェスタ in 徳之島

10月26日(土)、徳之島交流ひろば「ほーらい館」において、鹿児島県主催の『あまみ長寿・子宝フェスタ in 徳之島』が開催されました。

これまで鹿児島県保健福祉部を中心に奄美群島各市町村が、10年間にわたり取り組んできた「あまみ長寿・子宝プロジェクト」の集大成として、この徳之島を舞台に、大がかりなシンポジウムや元ちとせさんのライブコンサートを実施しました。

パネルディスカッションでは、地域で支え合う「子宝日本一の島」の子育て環境や要因など、地域ぐるみでの子育ての在り方が例示され、森まさこ少子化対策担当大臣は、「子供を産み育てやすい社会の一つのモデルを見せていただいた」「少子化対策には幅広い取組が必要であり、また、地域ごとの実情に即した取組が必要ということを改めて確信した」と述べられました。

最後に、大島郡町村会が、「長寿・子宝・癒し」の優位性を活かした群島の自立的発展の推進などの宣言をいたしました。



森まさこ少子化対策担当大臣を交えての
パネルディスカッション



六調で盛り上がる会場



「長寿・子宝」宣言



元ちとせさんのライブ



徳之島なくさみ館を視察された森まさこ少子化対策担当大臣

学びあい創りあい 伊仙町の文化 守り育てよう

11月4日(月)伊仙町総合体育館において、奄美群島日本復帰60周年記念第36回伊仙町町民文化祭が行われました。オープニングではI-BANDの皆さんが「日本復帰の歌」を会場の皆さんと合唱いたしました。

伊仙町の文化活動に貢献された芳倉 ミヨさん、稲泉 百合子さん、芳倉 淑子さん、清 美智さん、迫田 カツさんが伊仙町文化協会から表彰されました。さらに阿権出身の大島紬図案工・伝統工芸士の丸野勝寛さんが感謝状を授与されました。

会場内では、絵画や生け花、書道、茶道教室、短歌をはじめ、多くの作品が展示され、訪れた人たちの目を楽しませてくれました。文化協会団体による様々な舞台発表なども行われ、奄美群島日本復帰60周年にちなんだステージも多く披露され、会場一体となった文化祭となりました。



伊仙町産業・食の文化祭



去る平成25年11月23日勤労感謝の日、毎年恒例の「伊仙町産業・食の文化祭」が開催されました。今年は奄美の農業・農村の在り方について考え、地域と行政の橋渡しをする「KAMあまみ21」と共同開催でのシンポジウム、この1年間で農業・健康づくりの分野で功績のあった方々への表彰、そしてお楽しみの各種イベントや美味しい手作り料理など、例年を上回る盛況でした。表彰では、長年の女性農業経営士としての功績が認められ、黄綬褒章を受章した福留ケイ子さんを始め、子供達から元気な80代の方まで、表彰台に上げられました。

講演では「人生を変える徳之島との出会い」とのタイトルで、平成24年度の「ダイエットアイランドツアー」に参加した東京の大塚さんが登壇し、食、人との出会い、徳之島の自然、体に関する講義がどのように人生に影響を与えたかを語りました。ちなみに大塚さんは現在、徳之島の小学校教員として第2の人生を歩み始め、まさに人生が変わる体験をされています。

パネルディスカッションでは、「ダイエットアイランドツアーに見る農村交流の可能性」と題して行政、民間業者、民泊運営者、ツアー参加者による討議が行われ、実際に実施したツアー組み立ての難しかった点、民間企業として採算性の視点、島外のお客様のニーズなどに関して語りました。また世界自然遺産登録に向けて、土地規制、希少動植物捕獲・採集の規制など、あらゆる目的を持った来訪者に対して、事前に布石を打つべき事柄について登壇者が語りました。

ほーらい館広場では、YES・NOゲーム、サトウキビコンテスト、綱引き、赤ちゃんハイハイレース、ひよこつかみなどのイベントや、30店舗の出店で賑わいました。

来年もよりパワーアップしたイベントをご用意しますので、お楽しみに。



伊仙町戦没者合同追悼式

伊仙町戦没者合同追悼式が11月22日午後から義名山神社境内の慰霊碑前で行われました。

町戦没者遺族会代表(嶺 津太郎)による追悼のことばが読み上げられ会員並びに来賓の皆様約100名が参列され戦争で犠牲になられた英霊の御霊に謹んで追悼と感謝のことばを申し上げ、戦争で犠牲となられた498柱の冥福を祈り恒久平和への誓いを新たにしました。



伊仙町駅伝競走大会

11月10日(日) 冬の到来を告げる伊仙町駅伝競走大会が8区間(16.6km) 喜念浜公園駐車場入口～糸木名小学校グラウンドまでのコースで行われました。

沿道では、選手を応援しようと多くの方々が声援を送っていました。結果は、犬田布校区が大会2連覇を果たし、第6区では2名が区間新記録を生み出すなど、実りある大会となりました。

区間新記録

第6区 中学生女子 1.3km

- 1 作 尚香(伊仙校区) 5分02秒
- 2 中 夢子(阿権校区) 5分08秒

区間賞

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 第1区 廣畑 凜(糸木名校区) | 第5区 浜田茂樹(阿権校区) |
| 第2区 平山沙季(犬田布校区) | 第6区 作 尚香(伊仙校区) |
| 第3区 澤村洋飛(喜念校区A) | 第7区 吉鶴正樹(喜念校区A) |
| 第4区 折田千夏(面縄校区) | 第8区 中 満月(阿権校区) |



総合順位

第1位	犬田布校区
第2位	喜念校区A
第3位	阿権校区

徳之島支部結成記念野球大会

第58回高松宮賜杯一部予選大会

スラッガーズ優勝



平成25年11月3日、10日に行われました徳之島支部結成記念野球大会において伊仙町の軟式野球連盟チーム、「スラッガーズ」が見事優勝し、県大会出場の切符を手に入れました。

選手紹介

監督 森 哲也		主将 富 祐司	
中富 讓治	基山 辰也	大久保 明	
嶺 康弘	芝田 竜星	大倉 一真	
豊田 祐也	爲 大樹	前元 祥吾	
元原 克也	福永 幸司	喜山 博貴	
益岡 宗一郎	田中 勝也	野島 幸一郎	
永田 誠	實村 秀樹		

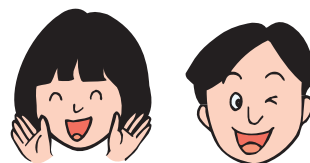
親子人権映画会を開催

本町では毎年、12月4日～10日までの人権週間にあわせ、人権意識の高揚を図ることを目的に親子人権映画会を開催しています。

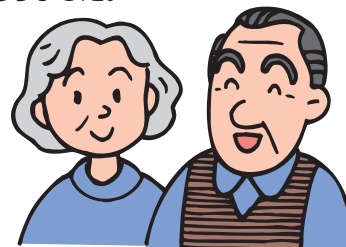
本年度は、12月4日～6日にかけて東部・中部・西部地区の順に、町内人権標語・ポスターの表彰、人権に関するビデオ視聴や人権に関する学習を行いました。



第3回 夢ときめき 伊仙町ねんりん芸能大会



11月30日(土)伊仙町老人クラブ連合会の主催で奄美群島日本復帰60周年記念「第3回夢ときめき伊仙町ねんりん芸能大会」が徳之島なくさみ館で開催されました。16の演目が披露されました。今年は徳之島町と天城町からも参加がありました。



伊仙町へき地保育所 合同うんどう会



10月26日(土)平成25年度伊仙町へき地保育所合同うんどう会が伊仙町総合体育館で開催されました。喜念へき地、古里へき地、面縄へき地、検福へき地、阿三へき地の5つの保育所の園児76名が元気よくその力を発揮してくれました。

かけっこ、おゆうぎ、親子競技等、保育士さんのアイデア豊かな楽しいプログラムが続き、ご両親もわが子の成長を喜び、かけつけたおじいちゃん、おばあちゃんも目をほそめて応援されていました。





地域包括支援センターって どんなところ？

地域包括センターは、高齢者の生活を総合的に支えていくための場所です。

住みなれた地域で安心して暮らしていけるように、

介護・福祉・健康・医療などさまざまな面から高齢者とその家族を支えています。

自立して暮らせるよう支援します

高齢のみなさんが自立して生活できるように、生活の仕方やサービスの利用などについて助言・紹介するなど、みなさんの今の状態にあった健康づくりや介護予防のお手伝いをします。

相談や悩みにお答えします

高齢のみなさんやご家族、地域の人からの相談や悩みにお応えし、情報の提供やサービスの紹介をします。介護や健康のことだけでなく、生活全般についてなんでもご相談ください。

虐待の不安などから権利を守ります

安心して日常生活を送れるよう、高齢のみなさんの権利を守る取り組みをします。たとえば、成年後見制度の紹介や虐待の早期発見、消費者被害未然防止などに対応します。

地域の連携・協力体制を支えます

高齢のみなさんが住み慣れた地域で暮らし続けられるよう、ケアマネージャーの指導・支援など、地域のさまざまな機関・専門家と連携・協力できる体制づくりに取り組みます。

伊仙町地域包括支援センター(伊仙町役場保健福祉課内)

電話 86-3111(内線41・61) 直通 81-7878

【建設課からのお知らせ】

『平成 26・27 年度建設工事入札参加資格申請』を下記のとおり受け付けます。

※町内業者においては、『平成 26 年度建設工事入札参加資格申請』等となります。

記

● 提出書類（建設工事について）

- 1 建設工事入札参加資格審査申請書
- 2 建設業許可通知書の写し
- 3 建設業許可申請書の写し
- 4 経営規模等評価・結果通知書の写し
- 5 直前 2 年の各事業年度における工事経歴書
- 6 町税等納税証明書及び各使用料納入証明書（町内業者のみ）
- 7 消費税及び地方消費税納税証明書の写し
- 8 労働保険料（労災保険）納入証明書の写し
- 9 退職金共済組合加入契約証明書の写し
- 10 雇用保険料納入証明書の写し
- 11 使用印鑑届
- 12 従業員等の資格免状のコピー、講習終了等のコピー
- 13 その他（ボランティア証明書の写し 等）

● 提出書類（物品について）

- 1 入札参加資格審査申請書
- 2 営業概要書
- 3 納税証明書
- 4 町税等納税証明書及び各使用料納入証明書（町内業者のみ）

● 測量、建設コンサルタント、地質調査等については、国土交通省の統一様式で提出してください。

- ◎ 提出部数 : 各 1 部
- ◎ 受付期間 : 平成 26 年 1 月 6 日～平成 26 年 2 月 28 日迄

※注意事項

- 1 書類不備の場合は受け付けできません。早めに申請し、確認を受けてください。なお町内の新規業者を除き、上記受付期間を過ぎると受け付けできません。
- 2 提出書類は、提出書類の一覧表を最上段にし、上記の各様式番号順にインデックスを付け A4 判のファイルに綴じ、表紙及び背表紙に「入札参加資格審査申請書」及び「会社名」を記入してください。また、複数の業種を申請する場合は、業種ごとに提出してください。
- 3 申請年度内に許可（建設業許可）の期限が切れる場合は、すみやかに新許可書を入手し提出してください。
- 4 町外業者については、2 年毎、町内業者については毎年の更新をお願いします。

【問合せ先】 伊仙町役場 建設課

Tel : 86-3111

～新成人の皆さんへ～

20歳になったら国民年金

国民年金は、年をとったときやいざというときの生活を、現役世代みんなで支えようという考えで作られた仕組みです。

具体的には、若いときに公的年金に加入し保険料を納め続けることで、年をとったときや、病気やケガで障害が残ったとき、家族の働き手が亡くなったときに、年金を受け取ることができる制度です。

国民年金のポイント

◎将来の大きな支えになります

国民年金は20歳から60歳までの人が加入し、保険料を納める制度です。

国が責任をもって運営するため、安定していますし、年金の給付は生涯にわたって保障されます。

◎老後のためだけのものではありません

国民年金には、年をとったときの老齢年金のほか障害年金や遺族年金もあります。障害年金は、病気や事故で障害が残ったときに受け取れます。また遺族年金は、加入者が死亡した場合、その加入者により生計を維持されていた遺族（「子のある妻」や「子」）が受け取れます。

「学生納付特例制度」と「若年者納付猶予制度」

★「学生納付特例制度」

学生の方は一般的に所得が少ないため、ご本人の所得が一定額以下の場合、国民年金保険料の納付が猶予される制度です。

対象となる学生は、学校教育法に規定する大学（大学院）、短期大学、高等学校、高等専門学校、専修学校及び各種学校（修業年限1年以上である課程）、一部の海外大学の日本分校に在学する方です。

★「若年者納付猶予制度」

学生でない30歳未満の方で、ご本人及び配偶者の所得が一定額以下の場合に、国民年金保険料の納付が猶予される制度です。

ご不明な点がございましたら、お気軽にお近くの年金事務所または、伊仙町役場国民年金担当窓口までお問い合わせください。

伊仙町役場 町民生活課 国民年金担当 86-3111（内線 52）

<感染症に注意しましょう!!>



感染性胃腸炎やインフルエンザなどの感染症が流行してきました。外出後・調理前・食事前などに、石鹸でのこまめな手洗いやうがいを心がけましょう。また、日頃から栄養や睡眠に気を付けてマスクの着用や咳エチケット等で予防に努めましょう。

※満65歳以上の方を対象に、インフルエンザ予防接種の助成が、平成26年1月31日まで受けられます。予診票を持参し、病院で受診してください。

<問合せ先：保健センター ☎ 86-2124 >

平成26年度 保育所入所申込について

平成26年4月1日以降の認可保育所・へき地保育所の入所申込を下記のとおり受付いたします。申込書は、役場町民生活課にあります。なお、現在入所中の方については、保育所を通じて「入所申込書」を配布してあります。

○受付期間 平成26年1月6日(月) ～平成26年1月31日(金)

○伊仙町内の認可保育園

幸徳保育園	定員60名	0歳から保育時間は7時30分～18時
わかば保育園	定員60名	0歳から保育時間は7時30分～18時
いせん保育園	定員40名	0歳から保育時間は7時30分～18時

○伊仙町内のへき地保育所

喜念へき地保育所	定員30名	0歳から保育時間は7時30分～18時
古里へき地保育所	定員30名	1歳6ヶ月から保育時間は7時45分～17時15分
面縄へき地保育所	定員30名	1歳6ヶ月から保育時間は7時45分～17時15分
検福へき地保育所	定員30名	1歳6ヶ月から保育時間は7時45分～17時15分
阿三へき地保育所	定員30名	1歳6ヶ月から保育時間は7時45分～17時15分

※ 保育所(園)へ入所できる児童は、両親いずれも家庭内外問わず働いている場合、または次の事項にある場合です。(親のいない家庭、母親の出産、病人の看護等、家庭の災害)

◎認可保育所は、所得状況により、保育料が変わります。

◎保育所入所(希望多数)により、希望の保育所に入所できない場合があります。予めご了承ください。

【問い合わせ先】 町民生活課 児童福祉係 0997-86-3111(内線55)

平成26年（平成25年分） 所得申告及び確定申告について

□所得申告の必要性

所得申告は下記各種証明の資料となります。生活保護者や無職で所得のない人や専業主婦も申告をしなければ各種申請に必要な所得証明書等が発行できません。申告をしなければ、医療費が高額になった場合自己負担が高くなる場合があります。また国保税等の軽減・国民年金の減免申請が出来ませんので遅くとも3月末までに役場税務課に所得申告をして下さい。また各種町税の徴収も行っておりますので、納め忘れの方は申告時に納め下さい。

1. 住民税・国保税課税資料
2. 児童扶養手当・特別児童扶養手当の申請
3. 保育所の入所申請
4. 町営住宅の入居申請
5. 各種年金の受給申請
6. 奨学金、育英資金等学校関係の申請
7. 各種金融機関の借入申請
8. 授業料減免申請・給食費減免
9. その他の申請書に必要となりますので必ず所得申告して下さい。

□申告に必要なもの

1. 印鑑
2. 所得を証明する書類（源泉徴収票・給与明細（1月～12月分）・農産物出荷証明書・営業、不動産収支明細書など）
3. 25年中に支払った国保税、国民年金、土地改良分担金、生命保険、損害保険等の領収書
4. 農業・営業・不動産等の収入に係わる経費の領収書
5. 配偶者、扶養家族に収入がある場合はその金額の証明書
6. 障がい手帳（申告者や扶養家族に障がい手帳がある場合）

□申告書の提出先及び提出期限

1. 確定申告は平成26年2月15日から3月15日までに大島税務署または伊仙町税務課まで
2. 市町村申告書は3月末までに伊仙町税務課まで

□大島税務署確定申告相談受付日程（3日間）

日時：平成26年2月24日（月）～平成26年2月26日（水）まで

場所：徳之島交流ひろばほーらい館 癒ていなホール

※確定申告はeL-TAXを使えば自宅で申告や納税が出来て大変便利です。詳しくは国税庁ホームページをご覧ください。詳しくは税務署までお問い合わせ下さい。

（税務署問い合わせ 0997-52-4321）

□申告受付及び各種税金の集合徴収日程は次面です。

平成25年分申告日程 午前9:30～午後4:00

日 時		集落名	受付時間	場 所
2月3日	(月)	喜 念	午前9:30～	喜 念 生 活 館
		小 島	午前9:30～午前11:50	青 少 年 会 館
		河 地	午後1:00～午後3:50	河 地 福 祉 会 館
2月4日	(火)	佐 弁	午前9:30～午前11:50	営 農 セ ン タ ー
		東 目 手 久	午後1:00～午後3:50	青 少 年 会 館
		糸 木 名	午前9:30～午前11:50	糸 木 名 生 活 館
		八 重 竿	午後1:00～午後3:50	営 農 セ ン タ ー
2月5日	(水)	西 目 手 久	午前9:30～午前11:50	西 目 手 久 公 民 館
		東 面 縄	午後1:00～午後3:50	青 少 年 会 館
		上 晴	午前9:30～午前11:50	営 農 セ ン タ ー
		崎 原	午後1:00～午後3:50	青 少 年 会 館
2月6日	(木)	上 面 縄 東・西	午前9:30～	上 面 縄 生 活 館
		東 犬 田 布	午前9:30～	西 公 民 館
2月7日	(金)	古 里	午前9:30～午前11:50	営 農 セ ン タ ー
		下 検 福	午後1:00～午後3:50	下 検 福 生 活 館
		西 犬 田 布	午前9:30～午前11:50	西 犬 田 布 生 活 館
		木 之 香	午後1:00～午後3:50	木 之 香 生 活 館
2月10日	(月)	上 検 福	午前9:30～午前11:50	営 農 セ ン タ ー
		御 前 堂	午後1:00～午後3:50	義 名 山 体 育 館
		東・西 阿 権	午前9:30～	阿 権 福 祉 会 館
2月12日	(水)	西 伊 仙 東	午前9:30～午前11:50	み ら い 館
		西 伊 仙 西	午後1:00～午後3:50	西 伊 仙 児 童 館
		西 阿 三・鹿 浦	午前9:30～午前11:50	西 阿 三 生 活 館
		東 阿 三	午後1:00～午後3:50	東 阿 三 生 活 館
2月13日	(木)	東 伊 仙 東	午前9:30～午前11:50	東 伊 仙 東 公 民 館
		東 伊 仙 西	午後1:00～午後3:50	営 農 セ ン タ ー
		中 伊 仙 東・西	午前9:30～午前11:50	中 央 公 民 館
		馬 根・中 山	午後1:00～午後3:50	馬 根 生 活 館

※各会場にこられない人は2月3日～2月13日(土、日、祝日を除く)8日間17時30分～20時まで
役場税務課窓口にて夜間申告を受け付けております。

※ 軽自動車税納期変更のお知らせ ※

軽自動車税の納期限が平成26年度から従来の4月末から、5月末へ変更となりました。

4月末日



5月末日

お問い合わせ

伊仙町役場 税務課 住民税担当: 荻田 軽自動車税担当: 嶺山 Tel0997-86-3111 (内58)

徳之島ダイエットアイランドツアー



タイトル:「徳之島ダイエットアイランドツアー」

実 施 日:平成26年2月25日(火)～3月3日(月)

参加費用:¥25,000 + 宿泊料(6泊分)

お申込み:伊仙町経済課 担当:西川由紀

昨年度も好評のうちに終了しました「徳之島ダイエットアイランドツアー」を今年も下記日程で実施します。長寿世界一、子宝日本一の伊仙町として、古代ギリシャ語で「生き方」を表す「ダイエット」に焦点を絞り「ダイエットアイランド構想」の一環としてこのツアーを位置づけています。今年は3町協力体制の元、宿泊や飲食業などの民間企業さんにも企画段階から入ってもらい、このツアーで組んだ健康長寿料理レシピを、お店で継続的に出せるよう、計画中です。

島外のお客様も大切ですが、徳之島の皆さんの健康維持が何より大切です。この機会にご自身の生活を、そして生き方を、見つめ直してみませんか？

～ 昨年度の参加者の声 ～

夢のような1週間で、徳之島の魅力に圧倒された

阿権小でのサタ作りを体験できたのは感激の極み

富山丸戦死者の遺族が参加されており、当時の新聞記事を亀津で発見し感動されたエピソードはこのツアーの記憶に残る

島の人のエネルギーをひしひしと感じた

諸先生方の講義や実技を通し、自分自身が少し恥ずかしくなった。脳が考えた通りにしか筋肉は動かないという事も再認識

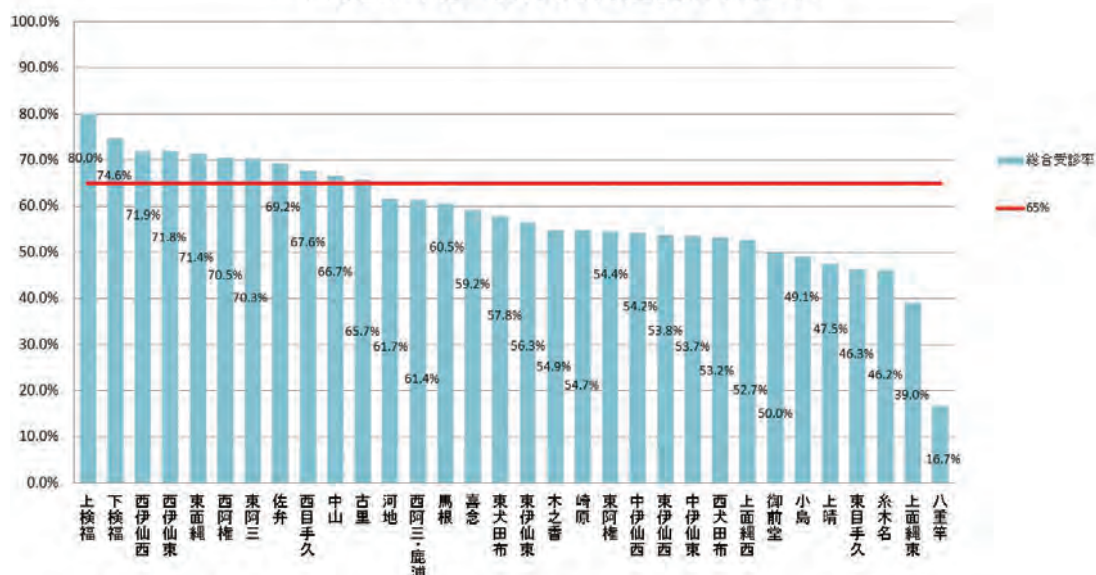
これから先の人生に大いに参考になった。この1週間心の洗濯、心のダイエットができて素晴らしい日々をすごせた

今年も元気な1年をめざして!!

年の始まりに臨んで思う事は、家族の健康を1番に願うことです。良く体を動かし、必要な分しっかり食べる、しっかりと睡眠をとる、家族でだんらんを持ち、日々のストレスは一人で抱えず相談するなど、心がけ次第で元気な1年が過ごせるかと思います。

そんな健康管理で、まず心がけることが、自分の体と向き合うことです。25年度の特定健診の集落別の受診状況を下記のとおりグラフで紹介します。未受診の方で、これからでもと思う方は、保健センター(86-2124)までご相談ください。

平成25年度 集落別特定健診受診率



2月から家電リサイクル海上輸送費の補助事業が開始！

お知らせ

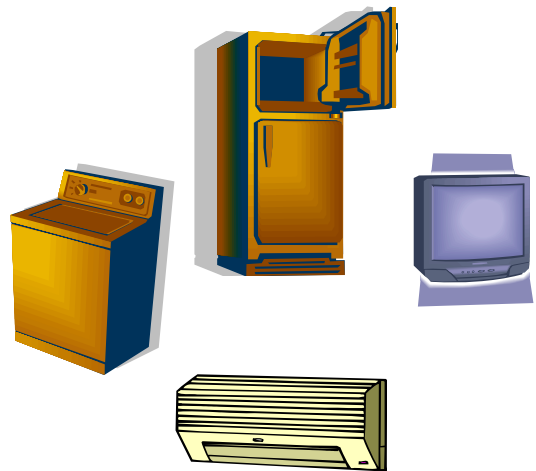
平成26年2月1日から一般財団法人家電製品協会が実施する離島対策事業により、徳之島3町から出される使用済み家電製品に対し、海上輸送費の補助が始まります。

これまでよりお店で支払うリサイクル料金が安くなります。

一般財団法人家電製品協会からの補助額は下記のとおりです。

家電の種類	助 成 額	
	H26. 2. 1～	H26. 4. 1～
エアコン	760 円	790 円
テレビ	600 円	620 円
冷蔵庫・冷凍庫	1,560 円	1,610 円
洗濯機・乾燥機	930 円	960 円

※この助成は海上輸送費に対するものです。収集運搬費と法律で決められたリサイクル料金が別に必要です。なお回収に係る費用は、各販売店で異なります。料金については、お店にご確認ください。



上記の家電製品については、法律でリサイクルが義務付けられています。買い換えや引っ越し等で不要になった家電は、必ず最寄りの家電販売店に引き取ってもらってください。

インターネット等で購入した義務外製品（引取を依頼した店で購入したものではない）も家電販売店で引き取ります。なお不燃ゴミとして出しても町は回収しませんのでご注意ください。

～1月10日は「110番の日」～

「1」～いち早く

「1」～いそがず慌てず

「0」～れい静に

110番は皆さんの身近で事件・事故が発生した場合等の緊急ダイヤルです。事件・事故を早期に解決するには、警察官の早期現場到着や所要の手配が必要です。通報の際は落ち着いて、「迅速」・「正確」な通報を心がけ、担当警察官の質問に答えてください。なお、携帯電話からの110番は、場所を特定できる目的物を伝え、通話中はできる限り場所を移動しないようにしてください。正しい「110番」のご利用をお願い致します。

※ 事件・事故以外の相談等は、徳之島警察署又は警察本部の相談電話「#9110」を御利用ください。



子宝日本一の町 わが町のアイドル



まき はれな
牧 晴波ちゃん (1歳1ヶ月)

やっと歩けるようになり兄ちゃんや姉ちゃんに鍛えられてたくましく育ってます(笑)
皆から愛情たっぷりアク②です♡



ため いつみ
爲 一樹くん (2歳1ヶ月)

わが家のかわいいうっくん♡
いっぱい笑って、大きくなってね♪

わが町のアイドル募集！

本紙では「わが町のアイドル」と題して、わが家のかわいい子どもの写真を掲載します。

毎月 10 日までに住所・氏名(子どもと保護者)・電話番号・簡単な PR 文を添えて、写真を役場企画課広報係までお持ち下さい。

問い合わせ先 伊仙町役場企画課 86-3111 (内 24)

人口の動き

(25年11月31日現在)

総人口=7,107	出 生=4
男 =3,554	死 亡=8
女 =3,553	転 入=18
世 帯=3,594	転 出=15

戸籍の窓

お誕生おめでとう
(敬称略)

出生児 保護者

大蔵 琴美	牧本 美希	牧本 奈美	上田 愛梨	基山 心彩	副島 陽仁	寿島 頼男	時島 兜真	嶺 叶翔	野里 結加	富本 莉里	義美 優喜	前山 朝日	富山 寧々
幸児	圭史	圭史	健志郎	辰也	祐己	ジャスティン	伸太郎	康弘	賢志	太地	英喜	邦丸	剛
古里	西伊仙東	西伊仙東	西伊仙西	西伊仙東	東伊仙西	東目手久	西大田布	西伊仙東	西大田布	上面縄東	上椋福	東面縄	東伊仙東

ご結婚おめでとう
(敬称略)

(元原 克也)	糸木名	(保 健一)	徳之島町
(永治 優花)	伊仙	(谷村 涼枝)	木之香

香典返し

※社会福祉協議会受付

○阿三	牧 小夜子さん (亡牧)	辰己さん	より金 一 封
○東面縄	明石 一磨さん (亡明石)	ミツさん	より金 一 封
○阿三	直江 宏晃さん (亡直江)	サコさん	より金 一 封
○西大田布	壽 平二郎さん (壽)	セイさん	より金 一 封
○河地	美島 住良さん (亡美島)	シゲさん	より金 一 封
○東伊仙西	上木 武藏さん (亡上木)	イワエさん	より金 一 封

